

意見交流(幼保育園グループ) 1/1

【行政への要望など】

- ・行政に要望・意見を伝える方法がわからない。手間がかかる。
- ・市内の幼児施設への入所について、短時間働くお母さんが、子どもを預けようとしたとき入所できる場所がない現状に対して、行政として何か対応策は？

【戸外公園】

- ・児童館が2つあるがどちらも日・月休み。ずらしてほしい。
- ・和田公園の整備とトイレの整備。
- ・最近の猛暑、豪雨、戸外遊び、登校時の心配。
- ・和田公園が近くだが、子供が自由に遊べる所が少ない。以前はアスレチックがあり自分が小さい時よく遊んだ。
- ・和田公園のアウトドア施設化（都市公園でない）。
- ・公園によって整備されている所、いない所の差が大きい。
- ・外で遊ぶ事を伝える。
- ・幼少に自然の中であそぶ経験が生きる力につながる。

【コロナ禍の状況で】

- ・菊川市のコロナ感染者が出た時に、小笠地区、菊川地区くらい教えてほしい。
- ・コロナで子どもの園での姿をみる機会ができなくなったのが残念。
- ・子どもに「マスクを外していいタイミング」登下校中などの指導もしっかりやってほしい。
- ・保護者からセキ、鼻水で休めと言われているようでツライと泣かれてしまった。
コロナチェックシートを一度やめようか。
- ・コロナでスマホを0才児から使う環境（スマホの子守り子育ては手がかかる。
便利なものにこどもの感性がうばわれている）
- ・コロナで家にいることが多く、テレビなど見ていることがあり
おたがいにイライラしてしまうことが多い。

【スマホ、PC、タブレット】

- ・スマホなどのスマートメディアの視聴時間30分～1時間を市としてもうたえていってほしい。
PRしてほしい
大きな効果はなくても意識にうたえることはできると思う。
- ・タブレット・スマホばかり使っていると共感力、コミュニケーション力が弱くなって
トラブルを解決する力も弱くなっていると感じる。
- ・スマートメディアとのむきあい方について小学校以降の授業等で学ぶ場があるか？
楽しく安全な使い方のベースになるとりくみがほしい。
- ・むかしのゲームはテレビ画面を使っていたので他の家族との関係で自由にできなかったが、
今は個別に出来てしまうので制限できない。
-自主性に任せてタイマーなどでやめられるようにする？-強制的にシャットダウンするのか？
- ・スマホ・タブレットやらせっ放しはよくない。時間制限しつつ、その内容について
親子でコミュニケーションするといい。

【地域】

- ・地域の行事を守る。
- ・同じ地区の子と交流が少ない。
- ・放課後のあそび方すごし方が大きくかわった。
- ・通学路になる道の歩道が狭い（歩行者少ないので仕方ないのかな とも思いますが）。
- ・地域で子どもを育てる大切さ、むつかしさ。

意見交流(小中学校グループ) 1/4

【コロナ禍でこんなことが、困っている・悪くなった】

- ・平日でも寝る時間が遅く週末だと深夜まで起きている事が多くなった。スマホだけではないが、今の時代、無いと困るものでもあり、制約が難しい。
- ・リモートだとコミュニケーションがとりにくい。空気がわからない。
- ・体力低下を感じ、ランニングするなど体力作りをしていた。
- ・マスクで声が通りにくい。表情がわかりにくい状況は意識している？
- ・親睦音楽会・市の陸上大会・マラソン大会など・・・上の子どもたちが行ってきたきた行事がなくなってしまいとても残念です。
親もそうですが、子どもも目標をもって取組める行事だったのでモチベーションが保てなくなってしまった気がする。やはり伝統として続けていってほしかった。親の楽しみは子どものがんばる姿、仲間と共にならざる行事です。なくさないでほしかった。
- ・公園などでも接触を気にして、のびのび遊べてない。
- ・ステイホーム中、生活のリズムは変わらないが消費エネルギーが少ないため食事が不規則になった。
- ・子どもの体力が落ちているが、今後回復してくると思う。
- ・学校イベントの変更や、日程により時間の確保、使い方が難しく、疲れが見られることが多かった。
- ・運動量が減り睡眠が取りにくくなった。→眠りに入るまでの時間がかかる。
- ・地区の子ども達の遊びが見えない。
- ・外遊びのやり方やイメージがつきにくくなっている。
- ・コロナの影響でおとなしくなった。窓の中から回りを見ている感じ。
- ・運動会、学習発表会など、参観の場での入場人数制限があるので、ちょっぴり残念。
- ・学習の遅れを心配し、それをストレスと感じると話していた。
- ・学校生活において、「給食が黙食」「廊下等での密をさける」等、2年前と比べ自然な交流が出来なくかわいそう。→その代わりに、様々な交流を教育活動で行っている。
- ・部活動の制限があり、練習や練習試合が思うように出来ず、技術の遅れを心配していた。
- ・大型ショッピングセンターなど、人混みを避けるようになった。外出先も、密にならない屋外にしているが、冬だとどうしても屋内に行きがちなので、心配になる。
- ・休日に友達と外へ出ることは減ったようだ。
- ・マスクをとったときの本当の顔をお互いに知らない。
- ・マスク着用が当たり前になり外すことへの抵抗が出てしまった。表情を読み取ることが難しくなったので、コミュニケーションが取りにくかったり、相手を認識できなくなり、

- 関りがどうしても減ってしまい人とのふれ合いがどうしても減ってしまい、寂しさを感じる。
- ・マスクを用意するのが困る。使い捨ての不織布マスクは家族の枚数を用意するのも、ゴミとして捨てるのも、いつも何とかならないかを感じる。
 - ・外食に行けない。
 - ・運動時にどこまでマスクをつけていたら良いかがわからない。
 - ・給食の時間にしゃべってはいけないので、キツイ。
 - ・給食は前を向いて黙食。本当はおしゃべりしながら食べたい。
 - ・修学旅行や宿泊体験のようなものが今までと違うので、見通しがつかず不安になることがある。
 - ・一人遊びになってしまう。
 - ・人の集まる場所を避ける。→どうしても避けさせてしまう。
 - ・立場上、学校側は冒険はできない。(少しでも危険の可能性があれば、安全策でいく。大胆で思い切るといのはなかなか難しい。)
 - ・感染防止のための制限により、部活動が十分にできなかつたり、大会が中止になったり縮小されたりと未だに影響を受けている。
 - ・高校の息子：授業で柔道着が必要で購入したが、数回しか着てなくもったいないなあーと親心を感じる。

意見交流(小中学校グループ) 2/4

【コロナ禍でもこんなことが、良かった】

- ・手洗いとマスクの習慣は、「衛生への意識付け」になった。(キレイ好き・チョット神経質に)
 - ・2人の子供は読書が好きなので、Book off やメルカリで本をたくさん買って読んでいた。
 - ・子供はそれなりに適応しているのではないか。
 - ・文化部門は、新しいアイデアを出し合い、子どもたちの良いところを発表できて、充実していたと充実していたと言っていた。
 - ・修学旅行、行けて良かったです。一泊でも大満足でありがたかった。とても楽しかったそうです。
 - ・昨期は、巣ごもり生活で家に居る時間が多かったが、色々なガマンを強いられた。今年は行動が制限される中でも知恵を出して、友達との時間をつくりだして、共存しはじめている感じがする。
 - ・学校行事は、色々な制約があった為、そんな中で、友達と知恵を出し合って文化祭のイベントを考えたり、修学旅行も予定していた場所が変わったが、行った場所で思い出が出来て、目的は果たせていると思います。
 - ・～ができて良かったという感謝する気持ちが育った！?
 - ・子供のアイサツについて・・・今の子供はアイサツをしないとされているが、スクールガードの立場から大人から声を掛ければ子供たち(小学校・中学校)もアイサツをする様になって来た。
 - ・タイピングが早くなった。
 - ・小規模校なので、それほど大きな影響を受けて子どもたちが大きく変わったという印象は薄い。
 - ・コロナを機会に学校行事を見直す。運動会、PTA行事も。
 - ・今のところ困ってないです。便利。
 - ・スティホーム中は、料理をするようになった。
 - ・体育部門は半日開催でしたが、クラスのきずなを感じられる素晴らしい大会でした。マスクをして走るのは苦しかったみたい。
- ※外しても良かったが、外すのを忘れていたそうです。

【スマホ、PC、タブレットについて】

- ・子供たちが大人になるころには今よりすべてがデジタル化していると思うのでi-padやPCに慣れておくのは良いことだと思う。
- ・タブレット端末が1人1台整備されたが生徒のPCを扱う機会が増えPCに関する知識、操作等は急速に力がついてきている。
- ・小学生のころからお下がりスマホを渡してSNS等を見ていたので年齢が上がるにつれて依存する時間が増えお小遣いの範囲ではあるがネット注文も(主に化粧品)も始めている
- ・学校が休校期間に学習(オンライン)も兼ねてi-padを購入。You tubeなどを見る時間が増えた。
- ・SNS、you tubeなどメディアに関する時間が増えた。
- ・ここ数年はSNSによるトラブルは格段に減ったような印象がある。情報モラルがある程度定着しつつあるということかな。
- ・今まで以上にスマホに依存する時間が増えた。芸能人やユーチューバーのSNSの認知度が上がり、それにつれて夜遅くまで長時間見ている時間が多くなったと思う。
- ・コロナで外出が減ったので外側の情報が入りにくくなり、内側(インターネットやメディア)の情報ばかりになっている。
- ・親の知らないところで関りがあったり、面と向かって関わって欲しい思春期になるとプライバシーやそういう子どもの見られたくない想いも汲みながらどのようにルールを作っていこうか悩む日々。なければ困るけれど、ない方が絶対いい! 何度スマホを目の前で壊してやろうと思ったことか…。持たさなければ良かったという意見が圧倒的多数です(保護者の間でも)。
- ・長時間見ることによって目が悪くなっている。使用時間を決めて使うようにしています。体育の授業で使う時には自分を客観的に見ることができて良いと思いました。
- ・「ちょっと待って」が増えた。動画のキリが良いところまで止められない。
- ・ゲーム中でのコミュニケーションが主になっているので本当の対人のコミュニケーション経験が少ない。
- ・スマホの時間が増えた。
- ・学校のタブレットを持ち帰った際、思いがけない故障の場合保護者負担になるので心配。
- ・遅い時刻にはスマホを触らせたくないが、人からラインが来ると返さないと…と悩んでいた(娘)。だからIDを周りに教えなかった。
- ・タブレット(クロームブック)の学習がとても充実し、未来に向けての準備が早い段階からできている。
- ・パソコン、タブレットの取り合いで兄妹ゲンカが多発。
- ・夜遅くまでゲームやネットをしている子が増えた。
- ・保護者のアカウントでゲームもやっているのでも課金をしてしまった事があり大変だった。
- ・子どもたちも素顔を出せないのが消極的になりがちだったり、感情を出すこともしなくなったり、SNSの淡泊なコミュニケーションになっているような物足りなさを感じるが多い。親の顔よりスマホばかり見ている。

【地域、学校、行政への要望】

- ・学校(中学校)の制服を廃止して欲しい。男子、女子で異なるものはどちらでもOKなものに変更して欲しい。

性の多様性や利便性を考慮して欲しい。

- 低学年の子どものヘルメット着用が必要なのではないかと思う。
- 教育予算の増額。施設、設備の充実。
- 教育予算の拡充(たぶんどの地域でも教育分野の予算は不十分かなと思います。市の財政力にもよるが…。
- 他県からの移住者ですがなかなか地域にとけ込めない感じがする(地元の話や昔話についていけない辛さ…)
こちらから接していく必要もあるが、共通の話題が無く苦勞しています。
- 送迎サービスがほしい。子どもの送り迎えサポート(土日の部活、仕事/学校行事、子供会や役員の仕事)などコミュニティバスの運行本数や時間帯を増やしてほしい。
- 子どもへの教育ばかりに目がいくが、そてをとりまく保護者(大人)にも救いの手が充実して行ってほしい。大人が子どもに目がいくようになればより良い教育につながる)
- 地域の年配の方がもっと学校の中に入りやすい環境を整えたら地域/学校(コミュニティスクール)が盛り上がると思う。
- まずは牧之原にもおやじ倶楽部の活動の様子のおたよりを入れて頂きたい(回覧などでOK)
いずれは牧之原地区の人も活動の参加できたらいいなあと思いました。
- 家庭内でも困っている保護者はたくさんいる。子どもには行政も動いてくれるが、保護者に向けての「何か」が少なすぎる。
- イベントが出来れば良いがイベント以外にも学校教育に関わるものがあるはず。
そういったものを発掘していくべき。
- 地域の個人商店なども取り込んだ教育づくり。大型店に行きやすかったりするので盛り上がりが必要。
- 菊川市にはこんなすてきな「おやじ倶楽部」があっただけいいなあと思いました。人生の先輩として一方的ではなく若年層の話に耳を傾けてくれるところがすばらしいと思う。
- 図書館が古くなってきたので新しくしてほしい、地域みんなが集まるスペースがあるといいなあ。きくるはgoodです。もっと場所があるといいかな。
- お祭りがなくなった事で子どもがどこの家の子か、どの人が親か分からなくなってさみしく感じる。みんなが定期的集まる機会があったら良いと思う。
- おやじ倶楽部のように地域の子どもを育てる取り組みを地域、学校、家庭が協力して活発に行いたい。